

岩手県性犯罪・性暴力被害者支援「はまなすサポート」について

1 本県の現状

本県では、岩手県公安委員会が指定した**犯罪被害者等早期援助団体**である公益社団法人いわて被害者支援センターが、平成 26 年に**性暴力等被害相談専用電話「はまなすサポートライン」**を開設の上、相談内容に応じた支援を行ってきたほか、**警察や配偶者暴力相談支援センター（県福祉総合相談センターほか 11 センター）等がそれぞれ対応**してきた。

2 本県におけるワンストップ支援体制の必要性

性犯罪・性暴力の被害者は、**心身に大きな負担**を抱えており、その負担を軽減し、健康の回復を図ることが緊要であるが、本県の**現状においては**、全体として**総合的・継続的な支援が途切れがち**となり、**被害が潜在化**することにもなりかねない。

については、これまで対応してきた**関係機関のほか、医療機関等が緊密に連携することにより、多岐にわたる支援を効果的に提供**するとともに、被害者が、最初にどの関係機関を訪れた場合であっても、**必要な支援につながる体制を整備**する必要があった。

3 協定締結

性犯罪・性暴力被害者への産婦人科及び精神科医療、相談・カウンセリング等の心理的支援、捜査関連支援、法的支援等の総合的な支援（以下「ワンストップ支援」という。）に関する連携を図るため、平成 29 年 8 月 2 日、性犯罪・性暴力被害者のワンストップ支援に関する協定を締結した。

協定締結者は、公益社団法人いわて被害者支援センター、岩手県産婦人科医会、岩手県精神医会、一般社団法人岩手県薬剤師会、岩手弁護士会、岩手県警察及び岩手県の 7 者。

4 はまなすサポート（体制図を参照のこと）

(1) 中心となる相談センター【はまなすサポートセンター】

公益社団法人いわて被害者支援センター

(2) 連携機関【はまなすサポーター】

ア 相談支援機関（岩手県福祉総合相談センター、岩手県男女共同参画センター、もりおか女性センター、広域振興局保健福祉環境部、児童相談所、市町村）

イ 協力医療機関（産婦人科・精神科：**医療費の公費負担**）

平成 29 年 12 月 1 日現在、産婦人科 26、精神科 26、計 52 機関（産婦人科、精神科とも協力医療機関となっている総合病院が 2 病院あり、実質は 50 機関）

ウ **保険薬局**

エ 岩手県精神保健福祉センター、保健所（県・盛岡市）

オ 岩手弁護士会（犯罪被害者救済センター委員会）

カ 岩手県警察（警察本部・各警察署）

(3) 運用開始

協力医療機関との覚書締結を経て、**平成 29 年 10 月 1 日（日）**から運用を開始した。

【参 考】

○ 性的事件の被害申告率（平成24年「安全・安心な社会づくりのための基礎調査（第4回犯罪被害者実態（暗数）調査結果）

過去 5 年間の被害申告率（被害に遭った個人のうち、被害（同一の被害態様で複数回ある場合は直近のもの）を捜査機関に届け出た比率） **18.5%**